



(海 星)

上演種目

劇場。私共が舞台に乗
込むと既に舞台・場内・
便所、みな掃除が行届
いていて一同同喰う。
これだけでは何故私に
微笑がこみ上げて来たか
判らないに違いない。まい
すわらじ劇團が何处へ行
つても舞台・場内・便所、
みんな掃除することはと
ても有名であるが、そうち
と知らぬ人は勿論多いに

八年つづけるすわらじ劇団
耳をかきつゝ
の流派だと云える。
そこで前に云つた劇團「すわらじ劇團」は今も
のたよりのことだが、私
なお十年一日こうして
理解の一端にして頂きたいと思う。
「すわらじ劇團」は、昭和二十一年の「男の花道」
以来今年で八回づけられてしまつた「すわらじ劇團」の公演も、昭和二十一年の「男の花道」
以来今年で八回づけられてしまつた「すわらじ」は、一体どう云う劇團なんだろう？ 第一
「すわらじ」と云う名前からして妙な劇團である。「坐らない」から「すわらじ」なのか？ 第一
「素足にわらじ」だから「すわらじ」なのか？ 「素晴らしい」から「すわらじ」なのか？ 一向
に分らない。その上又、この「すわらじ」は劇ダン(団)でなくて劇エン(團)と云つてゐる。
ことに角、妙な劇團だが、何か知らんが、とした魅力をあたえて興れる劇團である。
昨年の現代劇「故郷」は川口松太郎氏の原作である。係員が上演のお願いに上つたところ
川口氏は、「私のものは一々断る必要はありません。すわらじなら無断で、どこで何をやつて
もいいですよ。上演料？ そんなのはいりません、皆さんに貰しく！」と云う話だつたそ
うである。長谷川伸氏も同様だそうである。
「すわらじ劇團」は妙な劇團である。
——と思つていられる皆さんに、この特集を捧げて御
メツタに押ぬぬようなり
ワドイのものが横行、やつ
と客足を引っぱつてゐる
始末である。
ところが、何處に行つ
ても、大人満員で勘定だ
かい興行師から喜ばれ、工
また招かれれば学校、工
場の慰問はもとより、炭
焼倉庫まで気軽に出かけ
芝居がすめば舞台、便所
のすみくまで心をこめ
掃除して行く、今どき
珍らじ劇團である。

謝恩演劇座の靴姿だったからである。あるとか、また、旅まわりの劇団は地味な活動とて、も、ボツ〜「すわらじ」一向に相手にされず、劇を見習つてか、屋は昔ほど散らかして社会奉仕をいふことに、「一年一回の探し払い」とのこと。素ワラジはすわらじさんに任せといたこと。はいた二十年の行脚も、「悪徳劇場が多かつたが、今ではむしろこの劇団の来る前に「あらかじめ掃除しておかなうである。(四国徳島県古庄にて)

モタニウ

讀書評

「エベレスト登頂」
著者は昨年登頂に成功したイギリス遠征隊の話などなかなか興味がある
子供が大きくなつたら読みませたい
所で隊長一人につきとまぐろのかんすめをくう
暮しの手帖 (25)
人の子にねぐら有り
紅毛從然草
料理ハンドブック
暮しを楽しむ生業
人形芝居と紙芝居
袋物手芸集

月賣券坡所」(十一以後)
一の丁 高橋下駄屋 二の丁 小須戸畜産売店 三の丁 佐藤床屋
矢代田 渡辺 関司 新保坂 井自転車店 中学校前 風間乾物屋
近藤床屋 戸石茶や 梅の木 理髪や

▽九月十三日	▽入場料
昼一時 夜六時半	当日 大人 →二〇円 小人 六〇円
▽小瀬戸中学校	前売 →〇〇円 五〇円



(電 D 釋)

でも、読むに値すると思ふ。更にこの書は苦難の打ち勝つてゆく精神力の偉大さをしみじみと思わせてくれる。

何故今迄の隊があと三百メートルの所まで来たのか、百数十人を動員して最後にはたつた二人しか頂上へ行けないのはなぜなのか、人力の最後までの出し切つて行動する人間のたくましい記録は、これらの疑問を興味深く解決してくれる。

これまで田舎や一般の人から珍登山具を持ち込まれる話、七千メートルの高

大島法
星川主樹
佐藤賢了
り、私の机辺にうす高く
積まれた。中には知名の方々の手
紙も多く、その一つく
は涙なしには読みよう
なものばかりであった。
最初十通ばかり頂いた
時は、御返事を差上げよ
うと思つたが、五十通百
通となつて来では、どう
しようもない。たゞ、合
掌してその御健勝を祈る
をしたいと考えている。

殊に、自分の利益や自
分たちの階級の利害のみみ
に右往し左往する現在の
世相と対比して感慨に充
満するものがある。

この後も国の大義となら
れた方々に些かのお慰め
をしたいと考えている。

「かま水城六月五日」
恩向記念

衆生恩情

巣鴨の人たち

すわらじ劇園 当番 山田 隆也

昨年、すわらじ劇園で
は巣鴨の戦犯に問われて
いる方たちのところへ慰
問に行つた。

大変喜んでいたのでして
手紙を沢山頂いた。数え
て見ると二百通以上もあ
る。その要請によつてそれを
力強く推進された方々だけに、一
身一家にわたるこ
とが少く、御不自由な

いと体裁が悪い」と云ふ。劇場が多いそうで、「一回公演も何とか三回に」と入り切れないとお客様をタテに上下座する興行主であるとか。

また、旅まわりの劇団を見習つてか、旅先の演者も、ボツボツ、「すわらじ」という悪徳劇場が多かったが、今ではむしろこの劇団の来る前に「あらかじめ掃除しておかなうである。

(四国徳島県吉庄にて)

九月 中の 市の 日 (午前中)	新潟から日赤のチツキンカードと保健所栄養員が参ります。同じものを二回やります。	街頭料理講習会	八月購入図書
十三日、十八日、二十八日 (予定)	新潟から日赤のチツキンカードと保健所栄養員が参ります。同じものを二回やります。	街頭料理講習会	八月購入図書
場所 二の丁公民館前又は豚ちやんの店前	新潟から日赤のチツキンカードと保健所栄養員が参ります。同じものを二回やります。	街頭料理講習会	八月購入図書
迫力で最後まで一気に引きすついてくれる	新潟から日赤のチツキンカードと保健所栄養員が参ります。同じものを二回やります。	街頭料理講習会	八月購入図書
その外、ザトベックを参加させし、と言う意	新潟から日赤のチツキンカードと保健所栄養員が参ります。同じものを二回やります。	街頭料理講習会	八月購入図書
見まで出た話や一般人から珍登山具を持ち込まれる	新潟から日赤のチツキンカードと保健所栄養員が参ります。同じものを二回やります。	街頭料理講習会	八月購入図書
る話、七千メートルの高	新潟から日赤のチツキンカードと保健所栄養員が参ります。同じものを二回やります。	街頭料理講習会	八月購入図書

この本の何より驚くべき点は、この書出しにも見えるように、実に謙虚な態度で書かれていることである。この世界的ユースの成功者にしてはむしろあまりにもたんたんと書きすぎる、と言ふ氣さえする。

○この事は記録の実にこくめいなことと共にイギリス人の考え方をよし示して、ると思われる。

幸福に二つある自分一人の幸福と人を喜ばせる幸福と

△今月の買入図書

雑誌講談隨筆教養

オール読物十月号
わが愛する家庭(四)
子に語る歴史(四)
荒木又右エ門

映画ファン(九月号)
文芸春秋 増刊

「エベレスト登頂」		書評
著者が大きくなつたら読ませたい	子供が大きくなつたら読ませたい	所で隊長一人こつそりとまぐろのかんすめをくう
この本は準備から反省までのこくめいな記録である。著者はその様子を出来るだけくわしく、やるのままに、しかも隊員に対するあたゝかい思いでつづっている。	著者は昨年登頂に成功したイギリス遠征隊の隊長。	著者は昨年登頂に成功したイギリス遠征隊の隊長。
本である。本である。	この本は準備から反省までのこくめいな記録である。著者はその様子を出来るだけくわしく、やるのままに、しかも隊員に対するあたゝかい思いでつづっている。	所で隊長一人こつそりとまぐろのかんすめをくう
家庭	家庭	家庭
マングンガ	万葉の女たち	萬葉の女たち
マングンガ	サマエさん	サマエさん
マングンガ	おひなさ	おひなさ
マングンガ	マスクコットと	マスクコットと
マングンガ	趣味のそめの國案	趣味のそめの國案
マングンガ	袋物手芸集	袋物手芸集
マングンガ	人形芝居と紙芝居	人形芝居と紙芝居
マングンガ	ハンドブック	ハンドブック
マングンガ	暮しを楽しむ生活	暮しを楽しむ生活
マングンガ	クロスステッチ	クロスステッチ
マングンガ	ねぐら有り	ねぐら有り
マングンガ	紅毛從然草	紅毛從然草
マングンガ	暮しの手帖	暮しの手帖
マングンガ	(25)	(25)